

美ブロシルキーHG

コテバケ 仕上げ

施工要領書

< 使用材料 >

工 程	使用材料名	重 量	標準施工面積
1. シーラー	ex シーラー	400g ポリ袋	約 2 m ² /袋
2. 目地処理	目地処理材	2,700g/袋 (合成樹脂エマルジョン 500g 含む)	約 2 m ² /袋
3. 上塗り	美プロシルキーHG	10,650g /袋 (着色剤 150g、合成樹脂エ マルジョン 1,500g含む)	約 2 m ² /袋

< 使用道具 >

- ・ ウールローラー (シーラー塗布時)
- ・ 金鋺
- ・ 仕上げ鋺
- ・ コテバケ

< 適応下地 >

●ブロック塀 ・既設ブロック ・新設ブロック

●古い外壁面…(水系タイプ[※]の吹付けリシンなどで強度のあるもの)

※ 弾性系、撥水处理下地などには、施工できません。

※ 強度のある溶剤系、ペイント下地などには、「SK カチオンプラスター弾性タイプ」(別売)で全面下地処理後、「美プロシルキーHG」を施工してください。

※ 古壁の種類が水系か溶剤系か判定できない場合は、「SK カチオンプラスター弾性タイプ」(別売)で全面下地処理後、「美プロシルキーHG」を施工してください。

●セメントモルタル…(木鋺をかけたあと金鋺で表面を平らにしたもの)

※ 強度低下の著しいモルタルやその表面が平滑でない場合は、再度モルタルで全面補強が必要です。

注意事項

- ・ 下地は十分乾燥させてください。
- ・ 強度のない下地は剥離の原因になりますので、塗り直してください。
- ・ 釘などで錆の恐れがある場合には、錆止めを施してください。または、塗り替えて釘頭が錆びている場合は、サンドペーパーや研磨布を用いて錆を除去し、錆止めを施してください。
- ・ モルタル下地のひび割れは、アクリル系、変性シリコン系、樹脂セメント系充填材による補修を行ってください。
- ・ ブロックの目地部のひび割れは、モルタルによる補修を行ってください。
- ・ 5℃以下での施工は避けてください。または、施工後、塗布面が完全乾燥するまでに 0℃以下になる恐れがある場合は、施工を避けてください。

< 施工方法 >

1. 下地の清掃及び補修

■ ブロック塀

・既設ブロック

ワイヤーブラシや高圧洗浄機により、チリ・ホコリ、汚れ、バリなどを除去して清掃してください。ブロックの目地部のひび割れは、目地材をたがねや金づちなどで取り除き、その部分にモルタルを埋め込んで補修を行います。

・新設ブロック

目地罫による目地付けは行わず、目地部を平滑に仕上げます。そして、チリ・ホコリ、汚れなどを除去して清掃してください。

※ ブロック塀及び外塀などで盛り土のある場所には施工を避けてください。

■ 古い外壁面(水性タイプの吹付けリシンなどで強度のあるもの)

ワイヤーブラシや高圧洗浄機により、チリ・ホコリ、汚れ、バリなどを除去して清掃してください。この際、活膜は残して、劣化塗膜は除去してください。モルタル下地のひび割れは、アクリル系、変性シリコン、樹脂セメント系充填材による補修を行います。

※ 弾性系、撥水系処理下地などには、施工できません。

※ 強度のある溶剤系、ペイント下地などには、「SK カチオンプラスター弾性タイプ」(別売)で全面下地処理後、「美プロシルキーHG」を施工してください。

※ 古壁の種類が判定できない場合は、「SK カチオンプラスター弾性タイプ」(別売)で全面下地処理後、「美プロシルキーHG」を施工してください。

■ セメントモルタル(木罫をかけたあと金罫で表面を平らにしたもの)

強度低下の著しいモルタルやその表面が平滑でない場合は、再度モルタルで全面補強が必要です。

※ 巾木(基礎)部には施工しないでください。



2. 「ex.シーラー」の塗布

ウールローラー、刷毛、スプレーで全面にシーラーを塗布します。

塗布量 : 約 200g/m²(下地によって多少異なります)

※希釈せず原液のまま使用してください。



乾燥時間の目安: 3時間以上(指触乾燥)



3. 目地処理

■練り方

①ブロック目地処理材/標準加水量 0.25 ㍲/1 袋 (2m²)

容器(錆のでない物)に標準加水量の 8 割(約 0.2 ㍲)の水を入れます。

②「下塗材用ボンド」を加え、リシンマザールを使用して、よくかき混ぜます。

③次に「ブロック目地処理材」を加え、リシンマザールを使用してママコがなくなるまでよく練り上げた後、20 分ほど練り置きし、下地の状況により残り水を加えて、よく練り上げます。



4. 「美プロシルキーHG」上塗り

■練り方

①容器(錆のでない物)に標準加水量の 8 割(約 1.0 ㍲)の水を入れます。

②「外装材用ボンド 1,500g」と「SK セレクトカラー」(別梱包)を加え、リシンマザールを使用して、よくかき混ぜます。

※必ず指定色番号の「SK セレクトカラー」を使用してください。使用しない場合、着色できません。

※「SK セレクトカラー」は袋をよく振ってから使用してください。必ず全量を使いきってください。

※S001 のみ「SK セレクトカラー」は必要ありません。

③次に「上塗材」を加え、リシンマザールを使用して、軽く練り上げた後、20 分ほど練り置きし、下地の状況により残り水を加えて、よく練り上げます。

※ 水の入れ過ぎは塗り面がダレますので注意してください。

※ 同一面での塗り継ぎは色ムラの原因となりますので、必要な塗り材は一度に混練りします。(可使時間は 5 時間です。)

■塗り方

● 先に塗り付けた「ブロック目地処理材」が乾燥後、ステンレス鍔で塗り付けます。

● 上塗材は 2 度塗りを標準とします。

● 全面にしごき塗りを行い、乾燥後(夏期 1 時間、冬期 2 時間後)、仕上げ塗りを行います。

● しごき塗りの材料はやや硬めに練り、できるだけフラット面になるように塗布してください。

● 1 回の塗り厚は約 1.2mm を標準とします。薄塗りしすぎると、目地ヤセの原因となります。

● 追っかけ塗りすると、目地ヤセの原因となります。



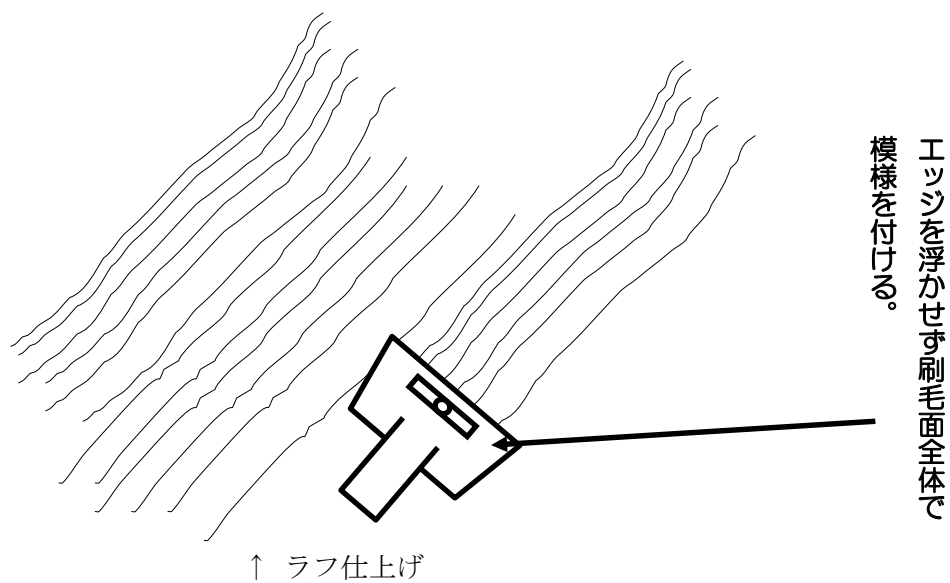
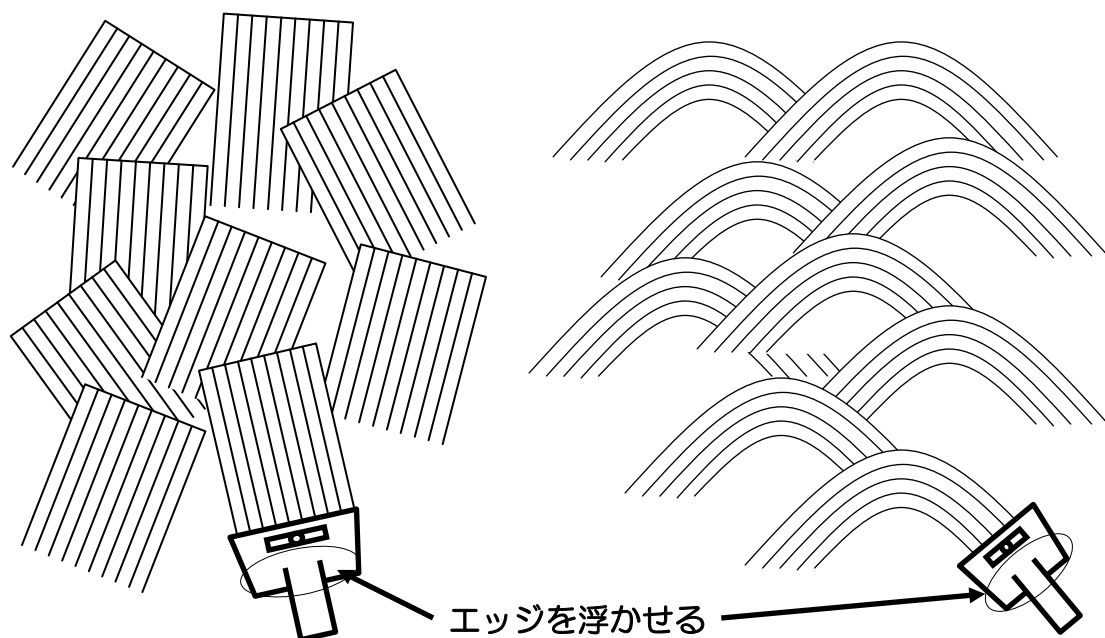
- 模様付けは、上塗り材を塗り付け後、直ちに行ってください。

↓
追っかけ(5分以内)

5. 「美プロシルキーHG」上塗り

上塗材が乾燥しないうちにコテバケで模様を付けていきます。
上塗材の塗り付けと、模様付けを分担すると作業がはかどります。
※パターンの付け方は次項をご参照ください。
※施工前に試し塗りをを行い、模様パターンの確認してください。

< 模様の付け方 >



< 注意事項 >

- ・ 下地は十分乾燥させてください。
- ・ 強度がない下地は、剥離の原因になりますので塗り直してください。
- ・ 釘などで錆の恐れがある場所には、錆止めを施してください。また塗り替えて釘頭が錆びている場合は、サンドペーパーや研磨布を用いてさびを除去し、錆止めを施してください。
- ・ 「ex.シーラー」塗布後は指触乾燥を行い、「ブロック目地処理材」塗布後は十分な乾燥を行ってから、次の塗り材を塗布してください。
- ・ 混練りした材料の長時間放置は避け、使用器具は早めに水洗いしてください。
- ・ 大きな面に施工する場合、美しい仕上げを行なうために1.8mピッチ程度で見切り目地を入れてください。
- ・ 気温5℃以下での施工は避けてください。
- ・ 施工後、塗布面が完全乾燥するまでに気温が0℃以下になる恐れがある場合には施工を避けてください。
- ・ 乾燥時間は夏期一昼夜、冬期二昼夜を目安としますが、気象条件、塗り厚によっては、それ以上の期間を要することがあります。
- ・ 乾燥しきらないうちに雨に当てないでください。降雨の恐れがある場合には、必ずブルーシートなどで雨養生を行い、塗り面に雨がかからないように注意してください。
- ・ 夏期、下地が焼けるような高温状態のときは、下地に微量の水打ちをしたり日除けをして、急激な乾燥を避けてください。また直射日光を避けて作業を行ってください。
- ・ 直射日光の当る場所、湿気の高い場所、高温(40℃以上)、低温(0℃以下)での保管は避けてください。
- ・ 本品は天然土・砂が主原料ですので、ロットによる多少の色違いはご容赦ください。
- ・ 施工前には試し塗りをを行い、模様のパターンの確認を行ってください。
- ・ チリ廻りは、養生してください。作業中、誤ってチリ廻りやアルミサッシに塗材を付着した場合には早めに洗い流してください。
- ・ 安全に関する注意事項については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

—以上—